

3. 国民的な議論の展開と戦略の決定

(1) 国民的議論の展開と戦略決定への道筋

エネルギー・環境会議は、3つのシナリオをもとに国民同士の対話が進むよう、以下のプロセスを踏みながら、責任ある選択を8月を目途に行い、政策を具体化する。

7月：国民的議論

政府は、以下のとおり、客観的かつ具体的な情報提供を行い、国民同士が意見交換を行い議論を深める機会を提供しながら、国民各層の意向を丁寧に把握する。

併せて、自治体や民間団体主催の説明会に協力し、マスメディア等による世論調査をしっかりと見極めることにより、総合的に国民の意向を把握する。

①エネルギー・環境の選択肢に関する情報提供データベースの整備

- ・7月上旬に、わかりやすく、利便性の高いデータベースを国家戦略室のホームページ上で構築する。
- ・国民同士の議論のため、客観的なデータや事実関係、議論の背景等を提供する。

②エネルギー・環境の選択肢に関する意見聴取会

- ・3つのシナリオに対して国民が意見を表明する聴取会を全国11カ所で開催する。
- ・7月14日（土）から8月上旬までの間、毎週末を活用して、集中して実施する。

③エネルギー・環境戦略に関するパブリックコメントの募集

- ・7月2日（月）から7月末までコメントを受け付ける。
- ・3つのシナリオをベースに、自由記載により幅広く意見、提案を募集する。

④エネルギー・環境戦略の選択肢に関する討論型世論調査

- ・エネルギー・環境問題は、国民的な論議を通じて、その意向を見極めることが必要である。したがって、政府は討論型の世論調査を実施して国民の意向を把握する。
- ・無作為抽出で募集した多様な意見を持つ少人数グループを組成、3つのシナリオに関する中立的な委員会が作成した資料に基づき学習し、その上でグループ討議を実施、3つのシナリオに関する意向を調査する。
- ・8月上旬に実施する。

8月：革新的エネルギー・環境戦略決定

3つのシナリオに関する国民的議論を経て、8月にエネルギー・環境の大きな方向を定める革新的エネルギー・環境戦略を決定し、エネルギーミックスの大枠と2020年、2030年の温室効果ガスの国内排出量等を示す。核燃料サイクル政策については、原子力委員会が提示した選択肢等を踏まえつつ、エネルギーのミックスの大枠に応じて、政府が整理し決定する。

速やかに：計画、年末まで：大綱の策定

8月に決定するエネルギー・環境戦略を受け、速やかにエネルギー基本計画を定める。年内に、原子力政策大綱や地球温暖化対策、グリーン政策大綱をまとめる。